

報告事例番号 4

ブランド米を核とした中山間 水田農業の永続的な発展

計画年度：平成30年～令和2年度

利根沼田農業事務所 普及指導課

課題設定の背景及び理由

背景

利根沼田地域の水稲栽培について

- 小規模、コンニャク、果樹、野菜等との複合経営、縁故米販売が中心

各種コンクールで連年上位入賞

- 美味しいお米の産地、各地区でブランド米の生産販売

課題

作業負担の増加

- 担い手の高齢化、後継者不足

農作業受託組織の活性化

- 地域の水田農業を支える存在 → オペレーターの高齢化が問題

理由



ブランド米生産組織と作業受託組織への支援が、利根沼田地域の水田農業の永続的な発展に繋がる。

更なる販売力強化や特別栽培米等の高付加価値化が重要。

主な推進課題と解決手法

1 永続的な米づくりの推進

支援対象：利根沼田地区水稻栽培関係機関

- ・永続的な水田農業に向けての「米づくりビジョン」の作成

2 生産組織の活動強化と販売・流通促進の支援

支援対象：利根沼田地区水稻栽培関係機関

- ・各ブランド米組織の活動支援
- ・ネットワーク交流会の開催
- ・良質米生産、食味ランキングの向上 → 品質向上技術の指導
- ・有利販売の支援、販売量の拡大

3 農作業受託組織の活性化

支援対象：各農作業受託組織、ブランド米生産組織

- ・受託状況聞き取り調査
- ・品種検討会の開催
- ・受託研修会の開催

目標年次の姿(ビジョン)

目標項目\年次	H29 (現状)	H30	R1	R2
米づくりビジョンの策定	—	—	1	1
ブランド米販売量 (t)	456	470	520	550 [520]
農作業受託面積 (ha・累計)	119	120	124 [121]	124 [121]

[]は計画作成時の数値

活動経過及び結果

1 永続的な米づくりの推進 米づくりビジョン(水田ビジョン)の作成

【活動経過】

○米づくりビジョン(水田ビジョン)案の作成、
検討、修正

4月～

○検討会開催

・7/17米関係会議

各生産組織、市町村、JA参加

・2/4 作柄食味(水田ビジョン)検討会

各生産組織、市町村、JA参加

・3/27水田ビジョン作成に向けた調整会議

JA担当者

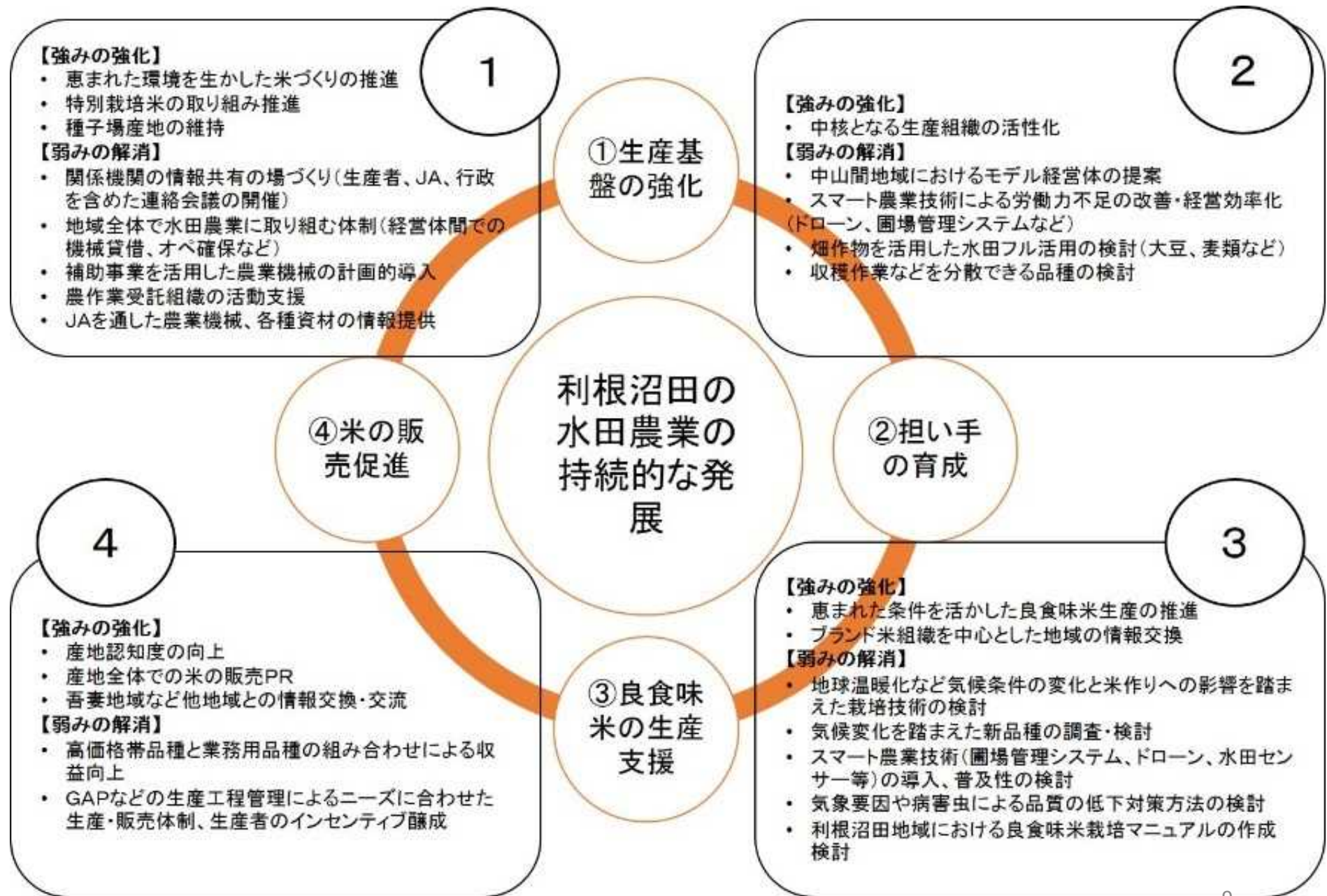


米関係会議 7/17



水田ビジョン検討会 2/4

【活動結果：作成したビジョン(案)】



【活動結果】

生産者、JA、行政による意見交換で出された主な意見

生産基盤に関すること

- 共同調製施設がなく、個人調製が主のため生産者への負担が大きい。
- 本気で取り組む生産者が面積を集約していけば、農地集約にもつながっていくのでは。

担い手育成に関すること

- オペレータの高齢化が深刻化している。

良食味米の生産に関すること

- 全国的に栽培性や良食味品種が続々出てきている。今後はこういった品種も合わせて検討してほしい。
- 作期分散のため、複数品種を栽培しているが、奨励品種等の形で品種の検討を行ってほしい。

その他

- 地域の水田を守るビジョンの必要性は理解、行政とも協力して農地維持を進めていく。

2 生産組織の活動強化と販売・流通促進の支援

【活動経過】

○ブランド米販売量の増加

- ・各生産組織への栽培講習会(4~2月)
(品質向上対策、適期収穫指導等)
- ・ネットワーク交流会
7/17 米関係会議
- ・PRイベントへの参加

○食味ランキングの向上 (特Aを目指して)

- ・食味に関する栽培講習会
2/4 作柄食味検討会

○1等米比率

規格外防止

- ・稲こうじ病対策実証ほ 1カ所
夏場の高温 → 白未熟、胴割れの発生
- ・品質向上対策実証ほ 1カ所



作柄食味検討会 2/4



水稻栽培講習会

2 生産組織の活動強化と販売・流通促進の支援

【活動結果】

○食味ランキングの向上 A → A
北毛「コシヒカリ」 A評価

・食味国際コンクールで金賞受賞
(川場村の生産者)

○1等米比率(R1産)
71.7% → 76.1%

○ブランド米販売量
477t → 540t



戦国米セット
(R1に新パッケージに変更)



品質向上対策実証ほ

3 農作業受託組織の活性化

【活動経過】

○受託研修会の開催

- ・6/18 農作業機械現地検討会(水田駆動除草機)
- ・12/6、2/27 生産者、ドローンメーカーと現地検討会に向けた打ち合わせ
- ・2/4 水稻品種検討会

○受託作業状況聞き取り調査

9/13、3/4、3/11、3/17



水田駆動除草機現地検討会



実演の様子

3 農作業受託組織の活性化

【活動結果】

- ・農作業受託組織の受託面積 123ha → 123ha
- ・聞き取り調査の結果、「オペレータ不足」、「雇用の確保」が多く挙げられた。
- ・農業振興課と連携し各種補助事業を活用した、農業機械（コンバイン等）の導入（川場村）

到達目標と実績

項目 \ 年次	H29	H30		R1		R2
	現状	目標	実績	目標	実績	目標
米づくりビジョンの策定	—	—	—	1	—	1
ブランド米販売量 (t)	456	470	477	520	540	550 [520]
農作業受託面積 (ha・累計)	119	120	123	124 [121]	123	124 [121]

[]は計画作成時の数値

残された課題と今後の対応

1 米づくりビジョンのブラッシュアップ

- ・ビジョン(案)に基づいた活動(PDCA)とビジョン内容の検討修正

2 生産組織の活動強化と気候変動に対応した栽培技術の改善

- ・各組織の米生産における課題について聞き取り、整理
- ・夏場の高温など気候変動に合わせた栽培管理の周知
- ・米の販売に関するマッチングイベントなどの情報提供

3 地域の水田農業を担う大規模経営体の育成・支援

- ・受託作業組織の作業負担軽減に向けて、省力化・スマート農業技術の現地への適応性を調査・検討（リモコン式畦畔除草機、ドローンなど）